

第16回

アディクション・フォーラム in TOTTORI 2025

『目の前の時間を消し去りたい ～オーバードーズの風景～』

講師：倉田 めば氏

(ダルク女性ホーム大阪職員 精神保健福祉士)

2025 **10/4** 土



受付／9:15～

開会／10:00～16:30

午前 講演会 午後 分科会・体験発表

定員／250名

会場／**ハワイアロハホール** 湯梨浜町はわい長瀬584
(分科会／アロハホール各室・隣接公民館各室)

参加無料

- 手話通訳・要約筆記あり(講演・体験発表のみ)
- 依存症でお悩みの方や家族のための相談を受け付けます。お気軽に声を掛けてください。

■お問い合わせ／事務局 gfsa1121@yhaco.co.jp 鳥取県断酒会 080-5231-5434(森田)
鳥取ダルク 0857-72-1151

■主催／鳥取アディクション連絡会

■後援／鳥取県、鳥取県教育委員会、湯梨浜町、湯梨浜町教育委員会、岩美町、岩美町教育委員会
鳥取県立精神保健福祉センター、鳥取県精神保健福祉士会、(公社)鳥取県医師会、(公社)鳥取県中部医師会
(一社)鳥取県薬剤師会、(公社)鳥取県看護協会、(一社)日本精神科看護協会鳥取県支部
鳥取県保護司会連合会、鳥取県更生保護女性連盟、鳥取保護観察所

第16回 アディクション・フォーラム in TOTTORI 2025

依存症は病気です。誰でもかかる可能性がある病気です。放っておくと最悪、死に至ることも少なくありません。自分だけの力で依存症から抜け出そうとしても、この病気を克服することはとても困難です。依存症からの回復には支援が必要です。

・・・ご本人にも、ご家族にも・・・

ひとりで問題を抱え込まずに、理解してくれる人がいることを信じて、一歩踏み出してみませんか。そして、同じような経験をしてきた方の話をきいてみませんか。さまざまな体験にふれることで、生きる道しるべを見つけることができるかもしれません。

私たちは、ひとりでも多くの人に依存症問題を知っていただき、その苦しみが軽減されるようにと願っています。仲間と協力しながら依存症からの回復に取り組んでいる当事者・家族のメッセージをぜひお聞き下さい。

くら た

倉田めば氏 ダルク女性ホーム大阪職員



Freedom代表。OD倶楽部コーディネーター。精神保健福祉士。尾道市生まれ。1993年フォトグラファーの仕事をやめ、大阪ダルク設立、2025年3月まで代表を務める。2002年大阪ダルクの「Freedom」を設立。依存症の家族の相談支援にあたる。2022年「OD倶楽部」をスタート。また2025年3月には「野菜クラブ」という大麻の当事者研究グループを立ち上げた。2010年より、パフォーマンスアート、詩作、写真などの表現活動を再開。共著に「リカバリーアウトロー」(社会学評論Vol.71)「シラフでクレージーになるために〜表現としての回復」(臨床心理学124、金剛出版)「転生する身体〜トランスジェンダー」(臨床心理学増刊15号)他がある。

プログラム

- 10:00～ オープニング 来賓あいさつ(アロハホール)
- 10:15～ 講演『目の前の時間を消し去りたい
～オーバードーズの風景～』
倉田 めば氏 ダルク女性ホーム大阪職員
- 11:45～ 分科会のインフォメーション
- 12:00～ ◇昼休憩◇
(昼食:ホワイエ各団体ブースをご利用ください)
(分科会会場へ移動)
- 13:00～ 分科会(アロハホール各室、隣接公民館各室)
各種依存症(アルコール、薬物、ギャンブル、
アダルトチルドレンなど)の当事者および
家族の自助グループ、当事者団体など
- 14:00～ ◇休憩◇
(アロハホールへ移動)
- 14:15～ 当事者、家族からのメッセージ(体験談)
- 16:10～ 質疑応答
- 16:30 閉 会

会場へのアクセス



■主な構成団体

NPO法人鳥取県断酒会、NPO法人鳥取ダルク、とっとり喫煙問題研究会、少年問題を考える鳥取の会
鳥取ダルクを見守る会、全国ギャンブル依存症家族の会 鳥取